

PETをオーダーする場合の注意点

<血糖値が高い場合>

インスリン分泌不良・反応不良による高血糖

脳への集積低下

軟部組織への集積増加(バックグラウンド上昇)

腫瘍への集積低下がおこる

【対応】 待てるなら DM コントロールをする

FDG 静注時、血糖値<150mg/dlが望ましい

* どうしてもの場合

DM コントロールが待てない場合

必ずしも病変検出ができないわけではない

遅延像などを検討する

インスリン治療中の患者様

最後のインスリン使用から、4~5 時間空ける。

午後の検査であり、朝食後使用する。

絶食支持の場合は、低血糖発作に注意が必要。

対処が必要な場合あらかじめ指示をください。

<検査前の食事>

4~5 時間空ける必要があります。

検査前絶食の説明は入念にしてください。

ガムは咬筋集積し、絶対不可。

キシリトールも糖質を含み、不可。

* 点滴に注意:糖分を含むものがあり、事前に中止してください。

<透析患者様>

透析は画像に大きく影響しない。

透析日を避けてください。

<介助が必要な場合>

松葉杖などは、上肢の筋肉への集積がある

介助による、従事者被ばくを考慮しなければなりません

【対応】 車椅子、要介助については、ADL 評価を辛めにし、

必ず家族の介助に伴う被ばくについて同意を得てください。

<他の検査との兼ね合い>

造影剤の吸収や生検などの炎症が影響します。

【対応】 造影 CT、気管支 FS は当日、翌日を避けてください。

UGI、注腸後は腹部X線で排泄確認後にオーダーしてください。

<放射線治療>

照射後の炎症があり、終了後 1 ヶ月以上で行う

<抗がん剤(静注)>

休薬中に行うようプロトコルに組んでください。

<抗がん剤(経口)>

基本的に ON で行う